

登録コード	ASJ03657	開講年度	2026				
授業科目	特別研究				担当教員	徳武 優佳子	
英文授業名	Graduate Research				副担当	米倉 真一	
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
講義室			授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当						
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ						
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。				・自身の研究テーマを論理的に分かりやすく説明できる。 ・自身の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 ・他者の研究を聴講して質問ができる。 ・プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。 ・英語による簡単な研究説明・質疑応答ができる。		
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。				・自身の研究テーマを論理的に分かりやすく説明できる。 ・自身の研究分野に関連した論文を分かりやすく説明できる。 ・他者の研究を聴講して質問ができる。 ・プレゼンテーション用の分かりやすいスライドを作成できる。 ・英語による簡単な研究説明・質疑応答ができる。		
授業の概要	動物栄養飼料科学研究室で、専攻研究として取り組んでいるテーマは以下の通りです。 ■家畜・家禽の生体機構に立脚した新規の飼料開発 ・採卵鶏の羽つつき（Feather Pecking）などの異常行動の飼料による改善 ・肉用鶏の暑熱による生産低下問題の飼料による改善 ・ニワトリの腸内細菌叢に及ぼす昆虫食の影響 ■ストレス分子指標の確立と飼料を介したアニマルウェルフェアの達成 ・血液中グルココルチコイドに代わるストレス分子指標の探索 ・家畜・家禽の生態に根ざした新たな飼料設計のための基礎研究						
Contents:	Students will learn a lot of skills such as planning of investigations and experimental techniques for study on animal nutritional sciences throughout their own research.						
授業計画	1. 専攻研究テーマの決定 2. 基礎実験の技術習得 3. 専攻研究計画の立案 4. 実験の実施・実験結果の解析 5. まとめ						
成績評価の方法	専攻研究発表、修士論文提出および論文の内容をもって総合的に評価します。						
成績評価の基準	90～100点を秀、80～89点を優、70～79点を良、60～69点を可、59点以下を不可とします。						
事前事後学習の内容	専攻研究テーマに関連ある文献等を数多く読むように心がけてください。						
履修上の注意	当該教官の担当する講義・実験科目履修者あるいはこれに相当する知識を有することを前提に専攻研究を進めます。したがって、動物飼育および栄養学に関心のある学生が専攻することを希望します。						
質問,相談への対応	随時、担当教員に直接相談するか、メールにて受け付けます。 tokutake@shinshu-u.ac.jp						
学生へのメッセージ							
【教科書】	指定しない						
【参考書】	指定しない						